

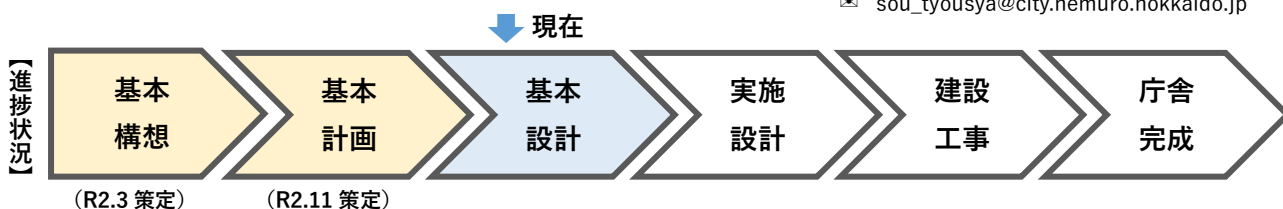
新庁舎の整備に向けて、令和2年11月に「根室市新庁舎建設基本計画」を策定しました。今回のかわら版では、新庁舎の駐車場計画や階構成などについて、基本計画の一部をお伝えしていきます。

令和3年1月発行 第3号

発行：総務部庁舎整備推進課

☎ 0153-23-6111 (内線 2239)

✉ sou_tyousya@city.nemuro.hokkaido.jp



新庁舎の基本理念について

基本構想では現庁舎が抱える様々な問題や、庁舎に求められる機能など、4つの視点について考え方の整理を行い、より効率的な行政運営を目指すため、新庁舎建設の基本理念を次のとおり定めました。

現庁舎の課題からの視点

耐震性の不足、災害発生時の対策本部機能の不足、老朽化による設備や機能の不足など現庁舎が有する課題を解決する庁舎

求められる機能などからの視点

災害対応拠点施設としての機能、窓口における市民の利便性の向上、ユニバーサルデザインの導入など必要な機能等に対応する庁舎

行政計画の位置づけからの視点

根室市地域防災計画などに位置づけられた、市民の安全を守る災害対応拠点施設としての安全性・信頼性の高い庁舎

社会経済情勢や周辺環境の変化からの視点

超巨大地震、人口減少、情報通信技術 (ICT) の進展、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な環境変化に対応する庁舎

新庁舎の基本理念

世代を越えて 安全と安心を未来へ

新庁舎の基本方針について

新庁舎における基本理念の実現のため、基本構想では4つの基本方針を定めました。基本計画ではその基本方針の下、新庁舎に必要な機能について検討を行いました。

市民の安全・安心を支える庁舎

耐震性

災害対応機能

方針1

- 庁舎は耐震構造を採用し、災害対応拠点施設としてふさわしい耐震性を確保します。
- 停電時にも外部からの供給無しで72時間連続運転が可能な非常用発電機を整備し、必要最低限の窓口業務の継続に努めます。
- 災害発生時に防災関係機関が派遣するリエゾン（災害対策現地情報連絡員）の活動場所や待機場所を確保します。
- 災害発生時には会議室などを開放し、一時避難スペースとして活用するほか、大規模停電時には情報端末等のための充電コーナーを設置します。
- 災害発生時用の備蓄倉庫を整備し、一時的な避難者や災害対応職員へ供給する非常食等を保管します。

全ての人が利用しやすく親しまれ、開かれた庁舎

窓口機能

バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能

方針2

- 窓口業務を行う関連部署を集約配置し、利便性の高い窓口を目指します。
- 車いすの方やベビーカーなどが十分に通行できる通路幅の確保や見通しの良い空間に配慮します。
- わかりやすいサインや窓口の色分けなど、来庁者がスムーズに手続きのできる案内計画とします。
- 複数の相談室や背パネル付きの窓口の設置など、来庁者のプライバシーに配慮した窓口を設けます。

環境にやさしく、経済的な庁舎

環境負荷低減機能

経済性

方針3

- 屋上や壁面等に太陽光発電パネルを設置するなど、自然エネルギーの活用を検討します。
- 断熱効果に優れた工法や、高断熱素材を採用するなど、空調への負荷低減に努めます。
- 内装の一部には道産木材を使用するなど、温かみのある空間を創出します。

機能性・耐久性に優れ効率的で将来にわたり 様々な需要に対応できる庁舎

効率性・合理性

機能性・耐久性

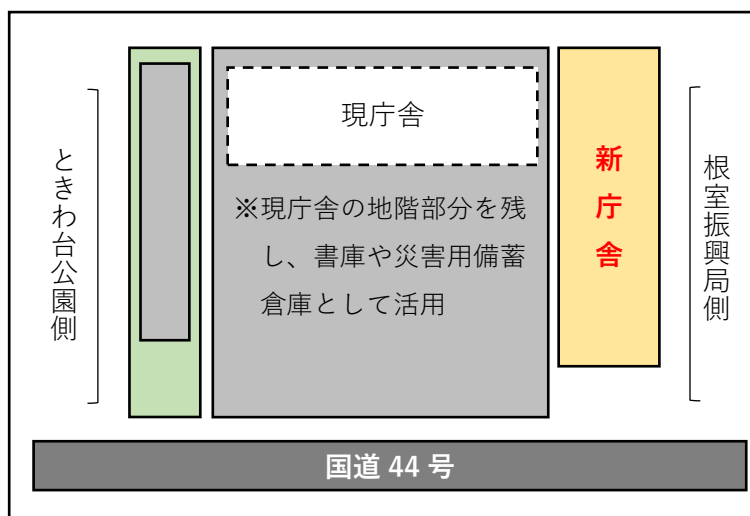
方針4

- 組織の見直しなどに柔軟に対応するため、執務室はユニバーサルレイアウトの採用を検討します。
- 執務室の個室化や細分化を原則行わず、オープンなフロア構成とします。
- 会議室は利用規模や用途に合わせて柔軟に空間スペースを変更できるように、可動間仕切りなどを採用します。
- 証明書の自動交付機の設置やコンビニ交付の導入など、利用者の利便性を高めるための手法について検討します。
- 行政手続きの簡素化や省力化のため、自宅などから手続きを行えるシステムの導入を検討します。

新庁舎の配置方針について

新庁舎の配置は、整形で広い駐車場を確保すること、敷地東側の高低差を利用して掘削量を抑えること、造成の範囲が少なく済むことなど、複数案との比較を行い総合的に判断した結果、敷地東側への配置が決まりました。

また、新庁舎の面積を抑えるため、現庁舎の地階部分を残し、書庫や災害用備蓄倉庫として有効に活用します。

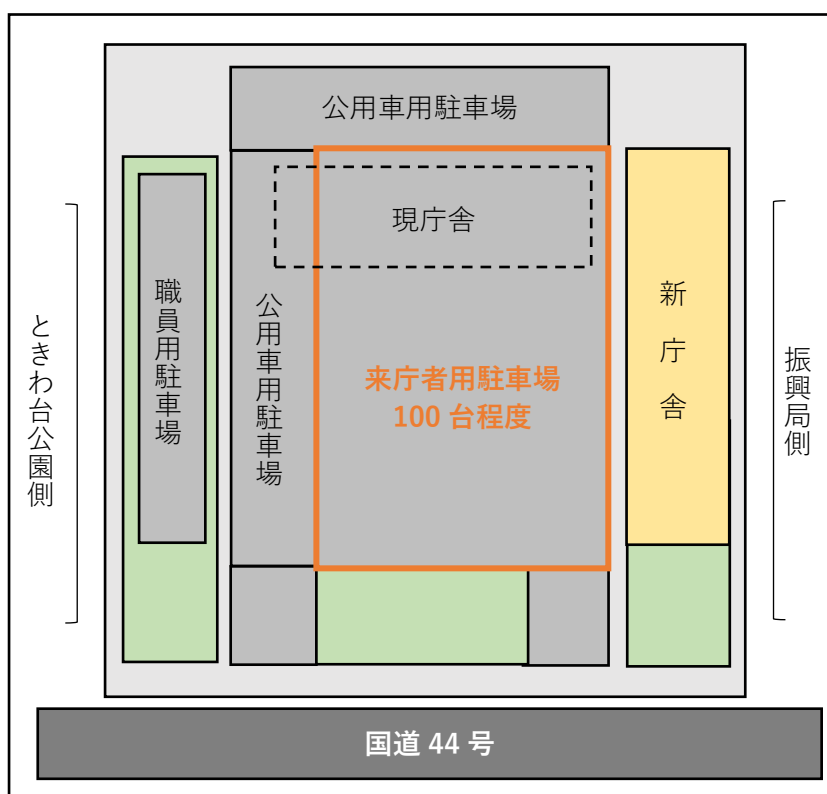


Point

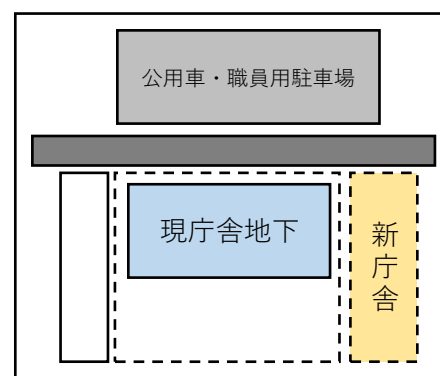
- ・仮庁舎を設置せず、現庁舎を利用しながら新庁舎の建設にとりかかることができます。
- ・新庁舎の建設工事中も来庁者が安全に利用できるアプローチに配慮します。

新庁舎の駐車場計画について

新庁舎の駐車場には一部に人工地盤を設置し、広く大きな整形の駐車場とすることで、100台程度の来庁者用駐車場を確保する予定です。また、誰もが利用しやすい庁舎となるよう、庁舎の入口付近には身体に障がいのある方や妊婦の方などが優先して利用できる駐車場を設け、駐車場の中央部には来庁者が庁舎まで安全にアプローチできる歩道の設置を検討しています。さらに、国道44号からの歩行者や車についても安全に庁舎敷地へ出入りができるように配慮を行います。



庁舎裏駐車場

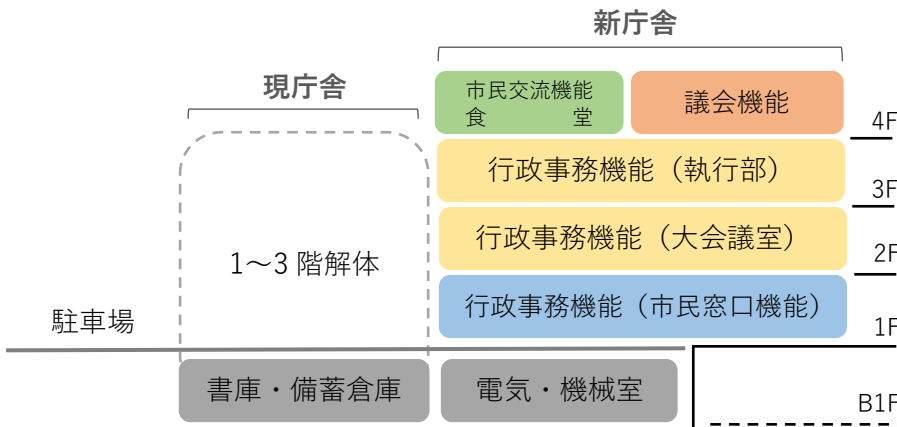


- ・来庁者が雨に濡れないよう庁舎入口部分には庇（ひさし）を設置
- ・庁舎入り口付近には適切な数の駐輪スペースを配置
- ・公用車、職員用の駐車場はそれぞれ70台程度を確保

新庁舎の階構成について

新庁舎は地下1階、地上4階建てとし、現庁舎の地下部分を書庫や災害用の備蓄倉庫として有効に活用します。また、災害発生時には平常時の利用体制から災害対応へと機能転換できる計画とします。

平常時階構成イメージ



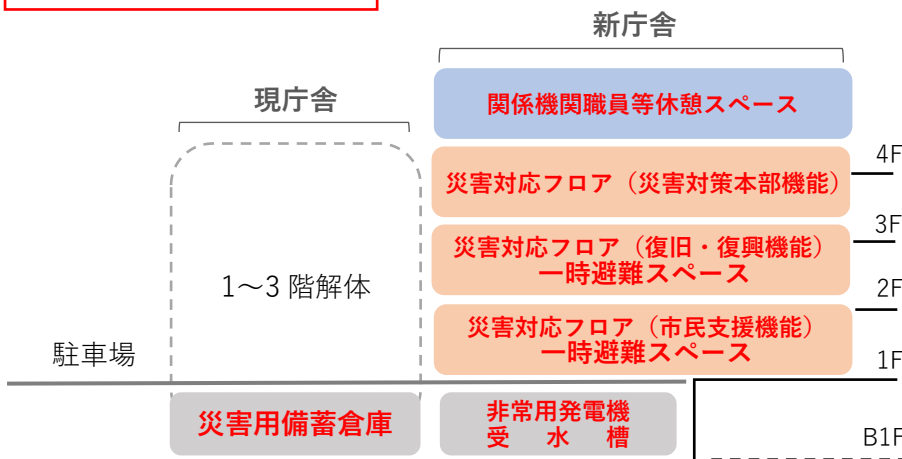
4F 議会機能や食堂のほか（仮称）市民交流サロンの配置など市民に開かれた空間をイメージ

1F 市民利用の高い窓口の配置や、（仮称）ネムロふるさとギャラリーを配置し、市民の憩いの場を創出

B1F 現庁舎地下を書庫や倉庫などとして有効に活用

災害発生時

災害時階構成イメージ



4F 災害応急活動を行う職員や他自治体からの応援職員の休憩場所のほか、一時避難スペースとして活用

3F 災害対応本部を設置し市民へ迅速かつ正確な情報発信を行う

1-2F （仮称）ネムロふるさとギャラリーや大会議室は一時避難者を受け入れる一時避難スペースとして活用

根室市役所ホームページでも庁舎整備に関する情報を更新しています！

総務部庁舎整備推進課のページはこちら ↓

QRコードでも読み込めます →



<https://www.city.nemuro.hokkaido.jp/lifeinfo/kakuka/soumubu/tyoushaseibisuisin/index.html>